

令和 08 年度				調 査		
本庁舎駐車場整備工事				設計書		
工 事 番 号				施 工 地		
				阿賀町津川地内		
		実 施 ・ 元		変 更		
設 計 額		円		円		
契 約 額		円		円		
(内消費税額)		(円)		(円)		
工事・履行日数		工事日数 140 日間		日間(付与日数 日間)		
		又は 完成期限 年 月 日		完成期限 年 月 日		
実 施	施工面積 A=1,100m2		変 更			
(元)	下層路盤工 1,100m2					
設計概要	表層工 1,100m2		設計概要			
	掘削工 480m3					
	アスカーブ 100m					
	区画線 360m					
	交通誘導員 1式					

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意）、“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx※	TFJAxxxxxxxx※	TYxxxxxxxx※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。 ※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。 ※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900※	S0901※	SE918※	
名称、労務数量等を設定	SA901※	SA902※	SA910※	SC900※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機一〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合があります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。
同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表 1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Zlt'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表 5 の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表 5 の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「* 減額処理 *」と記載されます。

※本表 5 の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「* 単価置換 *」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。

詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

本工事費 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
** 本工事費 **						
舗装			式			
舗装工			式			
舗装工			式			
下層路盤			一式			
下層路盤(車道・路肩部)			m2		1,100	
表層			一式			
表層(車道・路肩部)			m2		1,100	
縁石工			式			
縁石工			式			
アスカーフ			一式			
アスカーフ			m		100	
舗装土工			式			
道路土工			式			
掘削工			m3			
掘削			一式			
掘削			m3		480	
土砂等運搬			一式			

土砂等運搬（残土）		m3		480	
整地		一式			
整地		m3		480	
区画線工		式			
区画線工		式			
溶融式区画線		一式			
区画線設置		m		360	
仮設工		式			
交通管理工		式			
交通誘導警備員		一式			
交通誘導警備員B		人日		20	
直接工事費					
共通仮設費（率分）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費（率分）					
現場管理費計					
工事原価					

工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者（町）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明 示 項 目	施 工 条 件
① 工 程 関 係	① 関連する別途発注工事 （ あり ） ・ 工 事 名 ： 庁舎舗装修繕工事 ・ 予 定 期 間 ： 未定
	2. 施工時期、時間、方法の制限 （ なし ） ・ 時 期 ： ・ 時 間 ： ・ 方 法 ：
	3. 関係機関協議による工程条件 （ なし ） ・ 協 議 内 容 ： ・ 完了予定時期：
	④ そ の 他 施工時期、方法について発注者と協議すること。
② 用 地 関 係	1. 工事用地等の未処理部分 （ なし ） ・ 処 理 見 込 時 期 ： ・ 区 間 ：
	2. 仮設ヤードの指定 （ なし ） ・ 場 所 ： ・ 期 間 ：
	③ そ の 他 施工用地について、発注者と協議すること
3 公 害 対 策 関 係	1. 公害防止の制限（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） （ なし ） ・ 施 工 方 法 ： ・ 作 業 時 間 ：
	2. 家屋等の調査の必要性 （ なし ） ・ 方 法 ： ・ 範 囲 ：
	3. そ の 他

明 示 項 目	施 工 条 件
④ 安 全 対 策 関 係	① 交通安全施設等の指定 （ なし ） ・ 交 通 誘 導 員 ：20人計上 ・ その他施設等：
	2. 近接作業制限（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） （ なし ） ・ 内 容： ・ 工 法 制 限： ・ 作 業 時 間 制 限：
	3. 発破作業 （ なし ） ・ 保安設備及び保安要員： ・ 防 護 工： ・ 作 業 時 間 制 限：
	4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等） ・ 内 容：
	5. そ の 他
5 工 事 用 道 路 関 係	1. 一般道路を搬入路としての使用制限 （ なし ） ・ 搬 入 経 路： ・ 期 間： ・ 使用後の処置：
	2. 一般道路の占有 （ なし ） ・ 期 間： ・ 規 制 条 件： ・ 時 間 制 限：
	3. 仮設道路設置 （ なし ） ・ 工法指定の有無： ・ 用 地 関 係： ・ 安 全 施 設： ・ 工事完了後の「存置」または「撤去」：
	4. そ の 他
6 仮 設 備 関 係	1. 仮設備の指定 （ なし ）
	2. 仮設備の条件指定 （ なし ）

明 示 項 目	施 工 条 件
6 仮 設 備 関 係	3. 仮設構造物の転用、兼用 （ なし ） ・ 工 種： ・ 内 容： 4. イメージアップ （ なし ） ・ 内 容： 5. そ の 他
⑦ 残 土 ・ 産 業 廃 棄 物 関 係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり 発生する建設残土は指定する処分場へ搬出すること
⑧ 工 事 支 障 物 件 等	① 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） （ あり ） ・ 内 容：防犯灯 ・ 移設、撤去、防護方法等： ・ 時 期： 2. 占用物件重複施工 （ なし ） ・ 内 容： 3. そ の 他
9 排 水 工 （濁水処理含む）	1. 濁水、湧水処理等の特別な対策 （ なし ） ・ 内 容：
10 薬 液 注 入 関 係	1. 薬液注入工法 （ なし ） 別紙条件明示による
11 そ の 他	1. 現場発生材 （ なし ） ・ 品 名： ・ 納 入 場 所： 2. 支給品及び貸与品 （ なし ） ・ 品 名： ・ 引 渡 場 所： 3. 品質証明の必要 （ なし ） 標準仕様書第1編（章）1－1－25による 4. その他

明 示 項 目	施 工 条 件				
⑫ 排 出 ガ ス 対 策 型 建 設 機 械 及 び 低 騒 音 建 設 機 械	1. 排出ガス対策型建設機械 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 種</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの { 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 } ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン </td><td>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。</td></tr> </tbody> </table> 2. 低騒音建設機械 本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき低騒音型建設機械の使用が原則となる場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 低騒音型建設機械を使用する場合、請負者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。	機 種	備 考	一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの { 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 } ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。
機 種	備 考				
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの { 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 } ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。				
⑬ 施 工 方 法 等	・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）				

建設副産物特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備 考

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施 工 会 社 名 ・ 連 絡 先	備 考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称	未定		
工事場所／施設所在地			
連 絡 先			
受 入 時 間			
受 入 費 用			
仮 置 場 所 の 有 無			
備 考			

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	無筋コンクリート殻	鉄筋コンクリート殻	アスファルト殻	汚泥（さく井）
処 理 施 設 名 称				
施 設 所 在 地				
連 絡 先				
受 入 時 間				
受 入 費 用				
備 考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

「週休２日適用工事(現場閉所)」 特記仕様書

本工事は、「週休２日適用工事（現場閉所）」の対象工事である。
週休２日の取り組み内容について、現場着手前に受発注者協議した上で実施する。
また、通期の週休２日については、協議に関わらず取り組むものとする。

当初予定価格は、月単位の週休２日を達成した場合の補正係数を補正対象経費に乗じている。

取組に当たっては、新潟県で定める「週休２日適用工事（現場閉所）実施要領」に準拠するものとする。

(参考)

県要領の電子データは、新潟県ホームページから入手できるので参考とすること。
(<https://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html>)

参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者の適性かつ迅速な見積に資するための資料であり、建設工事請負基準約款第1条にいう設計図書ではない。

従って「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

総括情報表

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	実施設計書 1 実施単価 25 津川① 0-08. 06. 20 (0) 1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休 2 日 補正の有無 ICT3D出来形・納品補正 小型車補正	07 舗装工事 05 一般交通影響有 (2)-1 00 なし 40 4 0 % 01 金銭的保証 04 10% 21 0%:補正なし 18 月単位 (現場閉所) R7. 10 00 なし (R02. 10. 20~) 00 小型車補正なし	

工事番号

工事名

商号又は名称・代表者名

住所

内容について説明できる者の氏名

その者の電話番号

※本ファイルを工事費内訳書として提出する場合、左の欄も忘れずに入力してください。

※※ 本工事費 ※※ 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
※※ 本工事費 ※※										X1000	
舗装										Y1000000031	
					式						
舗装工										Y2000000270	
					式						
舗装工										Y3000001746	
					式						
下層路盤	路盤材種類:クワッチラン C-40, 仕上り厚:200mm									Y4000022887	
					一式						
	下層路盤(車道・路肩部)									SCB410030	
	0 省略	1, 100		m2						施工 第0-0001号内訳表	
表層	材料種類:⑨密粒度アスコン(13F), 舗装厚:40mm, 平均幅員:3.0m超									Y4000022891	
	0 省略				一式						
	表層(車道・路肩部)									SCB410260	
	0 省略	1, 100		m2						施工 第0-0002号内訳表	
縁石工										Y2000000507	
					式						

縁石工					Y3000004219
			式		
アスカーフ	材料種類:⑬細粒度アスコン(5F),断面積:125cm2 以上140cm2未満				Y4000029466
			一式		
	アスカーフ				SCB410330
	0 省略	100	m		施工 第0-0003号内訳表
舗装土工					Y1000000032
			式		
道路土工					Y2000000294
			式		
掘削工					Y3000001862
			式		
掘削	土質:土砂,施工方法:片切掘削				Y4000023282
	0 省略		一式		
	掘削				SCB210100
	0 省略	480	m3		施工 第0-0004号内訳表
土砂等運搬	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)				Y4000023283
	0 省略		一式		
	土砂等運搬(残土)				SCB210110
	0 省略	480	m3		施工 第0-0005号内訳表
整地	作業区分:残土受入れ地での処理				Y4000023285
			一式		
	整地				SCB210610
	0 省略	480	m3		施工 第0-0006号内訳表
区画線工					Y2000000300
			式		
区画線工					Y3000001890
			式		

	溶融式区画線					Y4000007980
	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:無し		一式			
	区画線設置					SWB821210
	0 省略	360	m			施工 第0-0007号内訳表
仮設工						Y2000000318
			式			
交通管理工						Y3000003678
			式			
交通誘導警備員						Y4000026665
			一式			
	交通誘導警備員B					SWB010212
	0 省略	20	人日			施工 第0-0008号内訳表
直接工事費						
共通仮設費 (率分)						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費 (率分)						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						

一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

区画線設置

SWB821210 施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号内訳表
08年06月20日適用
1000 m 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
区画線設置(熔融式)昼間 豪雪有実線15cm制約無	1,000.000	m			TQJ1036013 2 0 省略
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ 15~18 白	570.000	kg			TZJ4350001 1 0 省略
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25.000	kg			TZJ4352001 1 0 省略
接着用プライマー 区画線用	25.000	kg			TZJ4354001 1 0 省略
軽油	36.000	l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	1,000	m			
小計	1	m			
夜間作業の有無	=1	無し			
施工方法区分	=1	熔融式手動			
豪雪補正の有無	=2	有り			
規格・仕様区分	=1	実線 15cm			
時間的制約の有無	=1	無し			
塗布厚	=1	1.5mm			
排水性舗装に施工する場合の補正	=1	無し			
未供用区間の場合の補正	=2	有り			
熔融式塗料規格	=1	含有量15~18%			
塗料区分	=1	白			
プライマー規格	=1	アスファルト舗装			
費用の内訳	=1	全ての費用			

08-実施-一般-5555-当初

交通誘導警備員B

SWB010212 施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号内訳表
08年06月20日適用
1 人日 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
交通誘導警備員B		人			RR0804 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
小計	1	人日			

下層路盤(車道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 08年06月20日適用

SCB410030

施工内訳表

施工 第0-0001号内訳表

機械構成比： 6.54% 労務構成比： 20.94% 材料構成比： 72.52% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 2,261.7

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	モータブレード[土工用] 排出ガス対策(2014年規制)ブレード幅3.1m	4.52%		円/供用日	モータブレード[土工用] 排出ガス対策(2014年規制)ブレード幅3.1m		MMJ0701021 MM090701021
K2t	ロードローラ[マカダム] 運転質量10~12t	0.56%		円/日	ロードローラ[マカダム] 運転質量10~12t		TLC1050002 TL091050002
K3t	タイヤローラ[普通型] 運転質量13~14t	0.56%		円/日	タイヤローラ[普通型] 運転質量13~14t		TLC1060004 TL091060004
R1t	運転手(特殊)	9.23%		円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
R2t	普通作業員	3.36%		円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R3t	特殊作業員	3.00%		円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R4t	土木一般世話役	2.46%		円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	クラッシャーラン 40mm	70.53%		円/式	クラッシャーラン C-40 全仕上り厚 250mm		TZJ2120003 TZP91200031
Z2t	軽油	1.72%		円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価				積算単価		EP001
	全仕上り厚(実数入力)(mm)	=400			全仕上り厚(実数入力)(mm)		
	施工区分	=2			2層施工		
	材料	=3			クラッシャー C-40		
	費用の内訳	=1			全ての費用		

08-実施一般-5555-当初

単価適用日/適用基準日 08年06月20日適用

施工内訳表

1 m2 当り

標準単価： 2,261.7

08-实施-一般-5555-当初

表層(車道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 08年06月20日適用

SCB410260

施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表

1 m2 当り

機械構成比: 1.38% 労務構成比: 10.17% 材料構成比: 88.45% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,808.7

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	アスファルトフィニッシャ [ホイール型]舗装幅2.3~6.0m	0.88%		円/日	アスファルトフィニッシャ [ホイール型]舗装幅2.3~6.0m		TLC1210002 TL091210002
K2t	タイヤローラ[普通型] 運転質量13~14t	0.14%		円/日	タイヤローラ[普通型] 運転質量8~20t		TLC1060004 TL091060003
K3t	ロードローラ[マカダム] 運転質量10~12t	0.13%		円/日	ロードローラ[マカダム] 運転質量10~12t		TLC1050002 TL091050002
R1t	普通作業員	3.66%		円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t	運転手(特殊)	2.06%		円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
R3t	特殊作業員	2.03%		円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R4t	土木一般世話役	0.73%		円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	⑨密粒度アスコン(13F)	80.70%		円/式	アスファルト混合物 密粒度(20) 平均仕上り厚50mm		TZJ4100006 TZP91000030
Z2t	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.17%		円/L	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		TZJ4130002 TZ094130002
Z3t	軽油	0.49%		円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価				積算単価		EP001
	平均幅員 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) 材料	=4 =40 =4		3.0m超 1層当平均仕上厚 70mm以下(mm) ⑨密粒度アスコン(13F)			

08-実施-一般-5555-当初

表層(車道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 08年06月20日適用

SCB410260

施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表

機械構成比： 1.38% 労務構成比： 10.17% 材料構成比： 88.45% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1, 808.7

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
瀝青材料種類 費用の内訳		=2 =1	プライムコート PK-3 全ての費用			
【補正式】 P' = P						
[機械補正]						
$\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right] \times \frac{Kr}{K1r + K2r + K3r} \right.$						
[労務補正]						
$+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r}$						
[材料補正]						
$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r + Z3r}$						
[全体調整]						
$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$						

アスカーフ

単価適用日/適用基準日 08年06月20日適用

SCB410330

施工内訳表

施工 第0-0003号内訳表

1 m 当り

機械構成比： 4.69% 労務構成比： 64.29% 材料構成比： 31.02% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,010

代 表 機 材 規 格			構成比	単価(津川①)	代 表 機 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	2.82%		円/供用日	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010010 MPM93010010
K2t	アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 4.0~4.5m3/h	1.61%		円/供用日	アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 4.0~4.5m3/h		MMJ1020001 MM091020001
R1t	普通作業員	29.08%		円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t	土木一般世話役	11.81%		円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
R3t	特殊作業員	10.78%		円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R4t	運転手(一般)	8.99%		円/人	運転手(一般)		RR0115 RR9115
Z1t	⑬細粒度アスコン(5F)	29.42%		円/t	再生アスファルト混合物 再生細粒度アスコン(13)		TZJ4100005 TZ094101005
Z2t	軽油	1.10%		円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
Z3t	ガソリン レギュラー	0.41%		円/L	ガソリン レギュラー		TZJ6704001 TZ096704001
	積算単価				積算単価		EP001
	断面積 材料 費用の内訳	=1 =1 =1		125cm2以上140cm2未満 ⑬細粒度アスコン(5F) 全ての費用			
	【補正式】 P' = P						

08-実施-一般-5555-当初

アスカーブ

単価適用日/適用基準日 08年06月20日適用

SCB410330

施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号内訳表

1 m 当り

機械構成比： 4.69% 労務構成比： 64.29% 材料構成比： 31.02% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,010

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
[機械補正]	$\times \left\{ \frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} \right\} \times \frac{Kr}{K1r + K2r}$					
[労務補正]	$+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r}$					
[材料補正]	$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r + Z3r}$					
[全体調整]	$+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

掘削

単価適用日/適用基準日08年06月20日適用

SCB210100

施工内訳表

施工第0-0004号内訳表

1m3当り

標準単価：1,311.8

機械構成比：9.34%

労務構成比：85.54%

材料構成比：5.12%

市場単価構成比：0.00%

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	バックホ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型〕 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8m3		9.34%	円／供用日	バックホ(クローラ型)〔標準型・超低騒音型〕 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8m3		MMJ0202090 MM090202090
R1t	普通作業員		75.52%	円／人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t	運転手(特殊)		10.02%	円／人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
Z1t	軽油		5.12%	円／L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価				積算単価		EP001
	土質 施工方法	=1 =2		土砂 片切掘削			
	【補正式】 P' = P						
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right\}$						
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r}$						
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$						
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$						

土砂等運搬（残土）

単価適用日/適用基準日 08年06月20日適用

SCB210110

施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号内訳表

1 m3 当り

機械構成比： 44.67% 労務構成比： 40.44% 材料構成比： 14.89% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 758.59

代 表 機 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	44.67%	円/供用日	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010050 MPM93010050
R1t	運転手(一般)	40.44%	円/人	運転手 (一般)		RR0115 RR9115
Z1t	軽油	14.89%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	土砂等発生現場 積込機種・規格 土質	=1 =1 =1	標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			
	DID区間の有無 運搬距離(km) (DID区間無)	=1 =6	無し 3.0km以下			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right\}$					
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r}$					
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

08-実施-一般-5555-当初

整地

単価適用日/適用基準日08年06月20日適用

SCB210610

施工内訳表

施工第0-0006号内訳表

1m3当り

機械構成比：22.45%

労務構成比：52.33%

材料構成比：25.22%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：127.07

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	22.45%	円/日	バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.8m3 (平積0.6m3)		TLC1010007 TL091010007
R1t	運転手(特殊)	52.33%	円/人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
Z1t	軽油	25.22%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	作業区分	=1	残土受入れ地での処理			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{R1t'} \right] \times \frac{Kr}{Rr} \right.$					
	+ $\left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{Z1t'} \right] \times \frac{Rlr}{Zlr}$					
	+ $\left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1r} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

阿賀町役場本庁駐車場整備事業 位置図



阿賀町役場本庁駐車場整備事業 図面

